

第 26 回表面技術セミナー・平成 22 年度腐食防食協会東北支部講演会 合同大会

主催：岩手表面技術懇話会・腐食防食協会東北支部・腐食防食協会 PEFC 分科会

共催：(予定) 表面技術協会東北支部・電気化学会東北支部・化学工学会東北支部・日本表面科学会東北支部・日本化学会・(財) いわて産業振興センター・岩手大学地域連携推進センター・一関工業高等専門学校・岩手大学工学部

協賛 (予定)：応用物理学会東北支部・電子情報通信学会東北支部・腐食防食協会東北支部・岩手県材料応用技術研究会

日時：平成 22 年 11 月 5 日 (金) 13:30~17:00 (予定)

場所 (予定)：岩手大学工学部 テクノホール

〒020-8551 岩手県盛岡市上田 4-3-5

趣旨：このセミナーは表面・界面に関する基礎知識と最新の技術情報を提供することを目的としております。今回は、「燃料電池」をキーワードに幅広い内容のご講演を頂きます。

セミナー参加費：無料

定員：約 100 名

講演・講師 (タイムテーブル)：

時間	題 目	内 容	講 師
13:30	開 会 挨拶		
13:40 14:30	PEFC の白金触媒の劣化機構	固体高分子形燃料電池 (PEFC) は、家庭用および自動車用燃料電池として期待されているが、一般普及するためにはコストと耐久性の改善が不可欠である。本講演では、PEFC の構成要素材料の劣化問題、特に触媒の劣化機構について紹介する。	東京工業大学大学院 理工学研究科 西方 篤 氏
14:30 - 14:50 休 憩			
14:50 15:40	日立における燃料電池用金属セパレータ開発	クリーンで高効率な燃料電池は、昨今の地球環境問題の解決の一助となる次世代電源として注目されている。燃料電池用セパレータは、水素と酸素を分離したまま反応部に供給するための主要部品であり、燃料電池の性能・寿命に大きな影響を与える。金属材料を適用した燃料電池セパレータ開発について紹介する。	日立製作所日立研究所 次世代電池研究センタ 水上 貴彰 氏
15:40 - 16:00 休 憩			
16:00 16:50	海中ビークルと燃料電池	海洋研究開発機構では、自動で長距離を航行し連続的に海洋データを取得することができる無人潜水機で燃料電池を動力とする深海巡航探査機「うらしま」を開発しました。講演では、この無人探査機の構造を解説して、どのような工夫のもと、深海調査を可能にしているのかを説明するほか、閉鎖式燃料電池システム及び海域試験について紹介します。	独立行政法人 海洋研究開発機構 海洋工学センター 百留 忠洋 氏
16:50	閉 会 挨拶		

交流会：18:00~(予定)

参加申込方法：「セミナー参加申し込み」および「交流会参加申し込み」に関して明記、氏名、所属、住所、電話番号も忘れずに e-mail でお申し込みください。

申込先：岩手大学工学部応用化学科

七尾英孝 (幹事) e-mail : nanao@iwate-u.ac.jp